

空飛ぶクルマによる 観光集客力と防災力向上

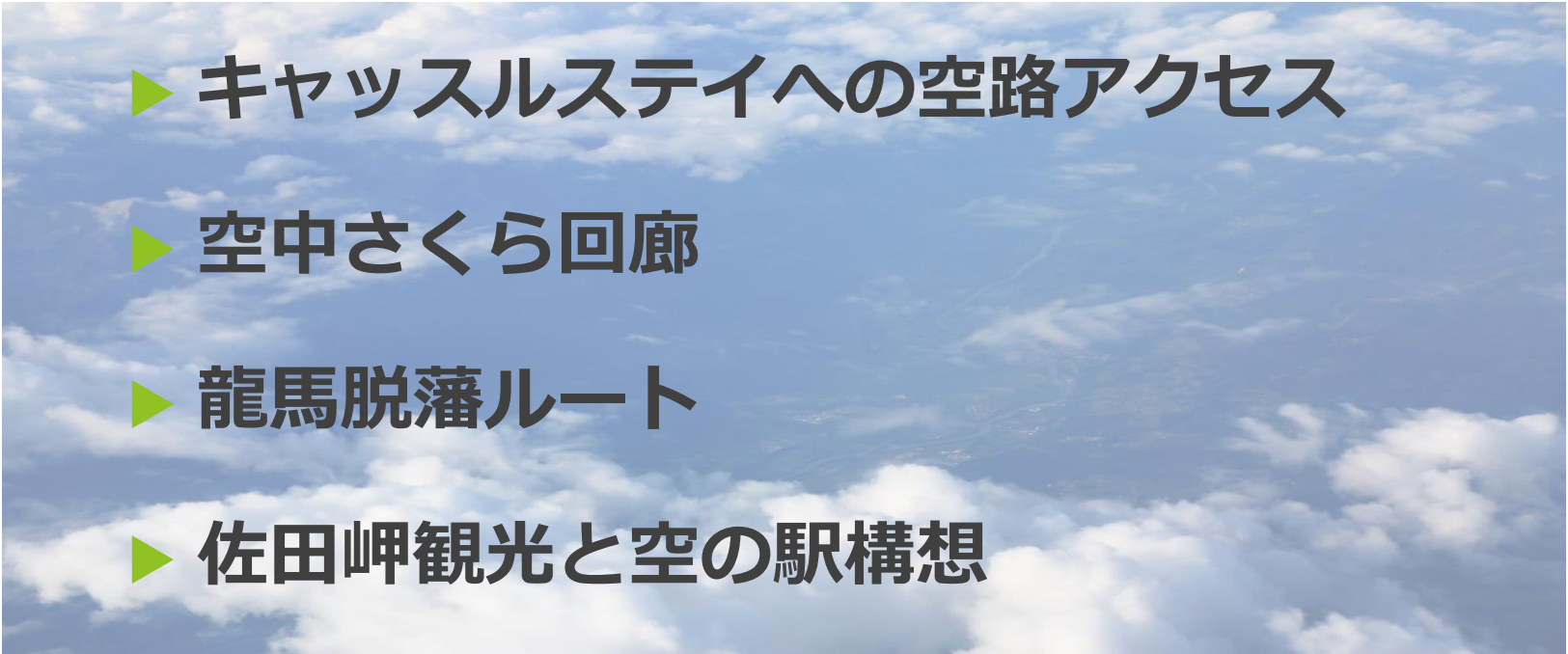
～ 大洲市の取り組み ～

大洲市の取り組み (導入構想)

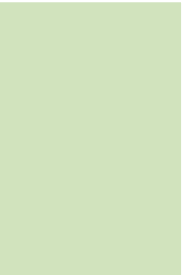


- キャッスルステイ事業への導入
- 松山空港からのアクセス改善
- 山間部・離島の孤立リスク解消

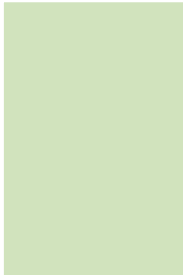
空飛ぶクルマがつくる新しい観光体験

- 
- ▶ キャッスルスティへの空路アクセス
 - ▶ 空中さくら回廊
 - ▶ 龍馬脱藩ルート
 - ▶ 佐田岬観光と空の駅構想

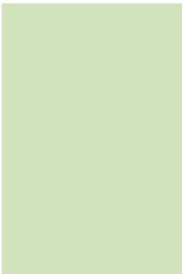
災害時の命を守る空のインフラ



物資・人員の空輸



医師派遣・緊急搬送



孤立集落・離島柄の支援

空飛ぶクルマとヘリコプターの違い

項 目	空飛ぶクルマ	ヘリコプター
環境性能	電動・静穏・排出ゼロ	騒音・排出あり
操縦性	自動運転対応	熟練操縦士が必要
航続距離	数十キロ～100km	長距離対応
インフラ	パーティポート新設	既存ヘリパッド活用

実装に向けたステップ

- ▶ バーティポート候補地の選定（例：長浜埋立地）
- ▶ 飛行ルートของ安全性・騒音調査
- ▶ モニターツアーの実施
- ▶ 災害時運用プロトコルの策定
- ▶ 地域住民への説明と受容性向上

空飛ぶクルマで創る未来の可能性

- ▶ 観光・防災・教育の三位一体活用
- ▶ 地域ブランドの向上
- ▶ 持続可能な交通インフラの構築

空飛ぶクルマは、未来を支える新しいインフラです。
地域の魅力と安全を空から支える取り組みとして、
検討を進めたいと思います。